



## 交通事故を未然に防ぐ大切さ 交通指導員に委嘱状交付

町は4月2日、園児や児童を対象にした交通安全教室や町の催しなどに出動し交通指導や交通安全の普及啓発活動に取り組む「交通指導員」5人に委嘱状を交付しました。

青木町長は「町民の交通事故を未然に防ぐ活動はもとより、世界遺産の町として町を訪れた人たちの安全を守ること大切な活動。今後も警察や関係団体と協力を深めながら町の安心、安全にご尽力をいただきたい」と協力を求めました。



## 新入学児童の安全な登下校を願う スクールガードに委嘱状交付

町教育委員会は4月2日、登下校時の児童の見守り、危険物や危険箇所の確認などの活動に取り組む学校安全ボランティア「スクールガード」47人に委嘱状を交付しました。

スクールガードは、安全で安心な学校環境を目指し委嘱しているものです。事業を開始して以来、町内で児童が巻き込まれる大きな事件・事故は発生しておらず、スクールガードによる成果が上がっています。

## 新1年生が元気に初登校 町内小中学校で入学式

平泉中学校の入学式が4月7日、平泉小学校と長島小学校が8日に行われ、新学期がスタートしました。

このうち長島小学校では、新1年生14人が真新しいランドセルを背負い初登校。緊張した面持ちで入学式に臨んだ子どもたちは、自分の名前が呼ばれると大きく元気な声で返事をしていました。式に参加した6年生に見守られながら、新1年生はこれから始まる学校生活に胸を躍らせるように目を輝かせていました。



## 交通ルールを守ります 町内小中学校で交通安全教室

町内の各小中学校で全学年の児童・生徒を対象とした交通安全教室が開催されました。

教室では、ミニ信号機を使用した校庭での自転車の実地訓練や、いつも通っている通学路に出て横断歩道などを渡る路上学習などが行われました。

4月15日、平泉小学校の路上学習に参加した1、2年生の児童は「右、左、右」と元気に安全確認をし、手を上げて道路を横断していました。

## 妊産婦さんの助けになれば 小宮さんケロ平模様のマスク寄贈

3月23日、小宮美幸さん(東京都・すごいカエル屋フロッギー)が一関市の株式会社京屋染物店と協力して製作したケロ平模様の布製マスクを町に寄贈されました。

小宮さんは「このマスクはウイルスや花粉症などの邪気からケロ平が守ってくれるはず。薬が飲めない妊産婦さんなどの一助になれば」と話し、30枚の布製マスクを青木町長へ手渡しました。寄贈されたマスクは保健センターから妊産婦さんなど必要な人へ配布されます。



## 児童生徒にマスクを配布 町内企業の三栄ビジネスがマスク寄贈

4月14日、町内企業の三栄ビジネス(坂下)が特殊抗菌処理を施したマスク600枚を町に寄贈されました。

マスクを青木町長に手渡した三浦代表取締役は「放課後児童クラブでマスクが不足していることを知り、マスクを寄贈することを決めました」と思いを伝え、青木町長は「新年度の学校生活が始まった中でマスクの寄贈は助かります。善意を学校に届けたい」と感謝を述べました。寄贈されたマスクは町内の児童生徒全員に配布されました。

## 災害時の心強い味方 消防ポンプ車の交付式

3月23日、現在の車両が29年経過したことに伴う車両更新のため、町から一関西消防署平泉分署へ新たに水槽付消防ポンプ車の交付が保健センター前で行われました。

今回配備された車両は6人乗りの四輪駆動車で、水槽積載のため水のない場所でも迅速に消火活動が行えます。

交付を受けた一関西消防署の佐々木署長は「関係機関と連携しながら地域の安心・安全のため大切に使用させていただく」と決意を述べました。



## 安全で安心なまちづくり 鍵かけ推進モデル地域指定書の交付式

4月9日、一関警察署において、鍵かけ推進モデル地域指定書の交付式がありました。当町では第9区長、第19区長が一関警察署長から指定書および鍵かけを呼びかけるステッカーの交付を受けました。

鍵かけは自分でできる防犯対策です。「少しの間だけなら大丈夫」など油断することなく、短時間の外出でも鍵をかけましょう。また、在宅していても常に鍵をかけることも大切です。日頃から鍵かけを習慣づけましょう。